

1868
2008
6/15

府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/平井賢治 編集人/西村浩美
(1部10円)組合員の講読料は組合費に含まれています。

府職労自治研集會

●とき 7月5日(土)
●場所 エルおおさか

大型開発事業を「聖域」化

夏季要求書
団体交渉

府民・職員にガマン強いる橋下「改革」

6月11日、府労組連、府職労は2日知事あてに提出した2008年夏季要求書の当局回答にもとづき団体交渉を行いました。交渉は、「財政再建プログラム(案)」で提案された大幅な人件費の削減問題を中心に、非常勤職員の待遇改善、教務事務補助員等の雇い止めの撤回、財政悪化の原因である「大型開発事業」が事実上聖域化されているも、府民サービス切捨て、職員生活を破壊する「財政再建プログラム(案)」を撤回することを強く求めました。

また、次の交渉に橋下知事の出席を強く要求しました(詳細は府労組連ニュース参照)。

平井府職労委員長は、「賃金・労働条件は労使交渉により決定するもの」であることを強調し、「十分な協議期間の確保」と「合意がないもとので強行しないよう」この間の当局の姿勢を改めて

賃金リンクの廃止、評価制度の抜本的な見直しをするよう求めました。定数削減により発生している異常な長時間・過密労働の解消、メンタルヘルス対策として段階的な職場復帰など、具体的な対策を早急に講ずることを当局に求めました。

河中土木現場支部書記長は、「すべての事業をゼロベースで見直す」としてまとめられた「財政再建プログラム(案)」が、大型プロジェクトは実施する内容になっていく問題点を追及

だと当局に迫りました。「私たちの追及に対し当局は、私たちに答弁をすることができず、「1100億円の削減ありき」の「財政再建プログラム(案)」を盾に



住民のくらしと安全を守ることが自治体の役割

夏季闘争第一次決起集会を開催

11日、府民と職員の生活を破壊する「財政再建プログラム(案)」の撤回を求める夏季闘争府労組連第一次決起集会を府庁本館前で開催しました。小雨まじりの天候のなか400名を超える組合員が集会に参加しました。

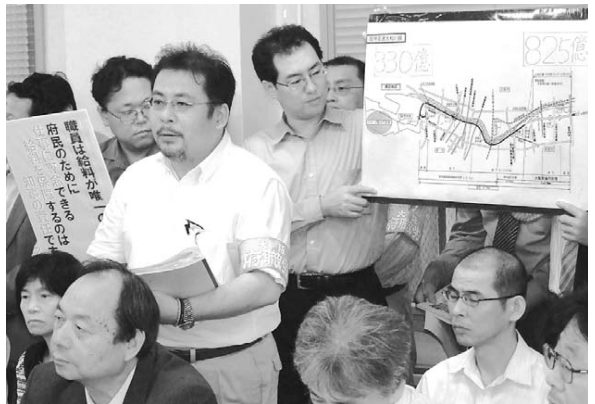
府職労は、生活破壊の「財プロセス」を撤回して、

300億円の改革をはじめ

国による地方交付税削減の撤回、大型開発事業の見直し、同関連事業の終結、大企業へ応分の負担を求めるなど、これ以上府民生活を後退させることなく、府民のための財政再建を行うことと、1100億円削減に固執するのではなく、大

多数の試算をおこなって、それを府民に提示をして議論を行うことを当局に求めました。しかし、5日発表された「財政再建プログラム(案)」は、福祉・医療、教育の切捨て、人件費の大幅な削減をする一方

7月議会に向けた当面する



遊歩道

先日、仙台に行く機会があり、10年以上ぶりに、高校時代の友人に会うことができた。▼友人は、仙台の大学、大学院へと進み、そのまま、仙台で就職し結婚した。しゃべり口調は学生時代のままで、二人の子どもがいるとは思えないような感じで、昔に戻った気がした。▼会うと、友人の方から真っ先に「大阪、大変なんじゃないの?」や「やはり、橋下知事の改革の大変さ是他府県でも知られていて心配されているのだ。でも、「宮城もね、この何年かで、いろんな県立の施設がなくなっちゃったよ。」と、やっぱり「しょうがないんじゃないかな」という受け止めがある。他府県の人とはちがく、大阪府民も、「財政再建のためには仕方ない」と思わされているところが、腹立たしい。▼つくづく庶民は人がいいのか。専業主婦だった彼女も最近パートに出はじめた。高校時代、彼女ともう1人仲良かった友人がいて、その友人も夫の会社が倒産し別会社に給料がぐんと減ったとかいう話も。▼いろんな話のひとつだけ、橋下改革の問題点とかを話した。▼身近な人から伝えていかなあかんよなと思えました。

2~3面

怒りの声特集

第一弾